

知っていますか？ かながわ教育ビジョン

皆さんは、「**かながわ教育ビジョン**」をご存知でしたか？

「かながわ教育ビジョン」は、明日のかながわを担う人づくりを進めていくために、県民の皆様と論議を重ねて作り上げた、本県の教育の総合的な指針です。

この「かながわ教育ビジョン」では、生涯を通じた教育・人づくりを重要な柱としています。

教育委員会や保護者の方々だけでなく、すべての県民の皆様が、この教育ビジョンに基づく**教育・人づくりの主体**です。一人でも多くの方々に、この「かながわ教育ビジョン」を知っていただき、一緒に理念の実現に向けて、「心ふれあう しなやかな 人づくり」に取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

かながわ教育ビジョンは、県民論議の成果です

神奈川県教育委員会では、明日のかながわを担う人づくりを進めるため、平成19年8月に、今後の本県の教育を推進する総合的な指針となる「かながわ教育ビジョン」を策定しました。

「かながわ教育ビジョン」は、「かながわ人づくり宣言」（平成17年11月）のアピール以来、ワークショップや教育イベントの開催、県民の皆様からの意見募集、各関係団体との意見交換等による教育論議を深めながら策定したものです。



教育ビジョンは、概ね20年間を見すえています。策定から5年以上が経過し、少子高齢化、グローバル化の進展、国では「第2期教育振興基本計画」が策定され、本県でも「神奈川の教育を考える調査会」から「最終まとめ」が提出されるなど、状況が変化していることから、県民の皆様との教育論議等を重ねて、本県が取り組む教育施策をまとめた第4章「展開の方向」及び第5章「重点的な取組み」について改定を行いました。

このビジョンのもと、**人づくりにかかわる様々な方々との共感・共有に基づく、協働・連携**を推進してまいります。

基本的性格

1. 本県の教育推進の総合的な指針であり、市町村等をはじめ、すべての県民の皆様との共感と共有、協働と連携により、一体となった施策を展開していくものとする。
2. 本県の総合計画における教育分野の個別計画（指針）として、基本理念、人づくりの視点、施策展開の方向性を示すものであり、具体的な施策・事業を、総合計画の実施計画に位置付けている。
3. これまでの本県教育の根幹を成す「ふれあい教育」の理念を継承しつつ、これからの時代に対応できる新たな理念を示す。

ビジョンの構成

- 第1章 「教育ビジョン策定の背景」 = 本県の教育を取り巻く現状と課題を整理
- 第2章 「基本理念・教育目標」 = 本県がめざす教育の姿を明示
- 第3章 「人づくりの視点」 = 発達段階に応じた主な教育の主体のかかわりを整理
- 第4章 「展開の方向」 = 人づくりを展開する上での県の方向性を体系的に整理（平成27年改定）
- 第5章 「重点的な取組み」 = 今後の県の重点的な取組みを明示（平成27年改定）
- 第6章 「教育ビジョンの推進」 = 策定後の推進について明示

用語集

資料



※ 全文をご覧になりたい方は、[こちら](#)でダウンロードしてください。

かながわの教育がめざすもの (かながわ教育ビジョン 第2章)

かながわらしい「人づくり」を進めていく上での基本的な考えを、次のように基本理念としてまとめました。



(解説)

夢や希望に向かい、自らを律して困難を乗り越え、未来をたくましく切り拓くこと
 自己と社会の未来を創る強い意志をもち、変化をおそれず主体的に行動すること
 自己への自信と人への思いやりをもって、心豊かでしなやかに生きること

これらを可能にする力と、自己肯定感をはぐくみ、自立した一人の人間をめざす自分づくりと、社会の構成員としてより良い社会づくりにかかわる総合的な力を「人間力」ととらえ、かながわの人づくりの視点としました。

※自己肯定感：自己自身の存在に対する認識として、自らの身体的な特徴や能力、性格などについて肯定的に考えたり、感じたりする感情のこと。

この基本理念を実現するために、子どもから大人まで、全ての人が身に付けていきたい「人間力」の内容を、次のとおり「めざすべき人間力像」に整理し、教育目標として掲げています。



(解説)

この3つの教育目標では、人が家庭の中に生まれ、多くの人に見守られながら成長していく過程で、自己肯定感を基盤とし、人を尊重し、多様性を認める思いやる力を身に付けるとともに、社会とのかかわりの中で豊かな経験を積み、学び続けることで人間的な成長を遂げ、自分らしく自立してたくましく生き抜くことのできる力と、学んだことを生かして社会に貢献する力の育成をめざしています。